



利用を待つばかりとなった日本版スーク

公益財団法人 国際通貨研究所
専務理事 渡辺 喜宏

銀行法施行規則、金商法、税制という難易度の高い一連の改正が実現し、本年度よりスーク（イスラム債券）の東京市場での起債・流通が可能となった。TOKYO-AiMのTOKYO PRO-BOND Market、日証協、証券保管振替機構の取扱規則等も整備され、発行者と引受業者による利用を待つばかりとなっている。この出来事は、東京市場の一つの節目であり、その背景と課題を概観したい。

日本は輸出大国として発展してきたものの、未だ金融大国となったとは言い難い。国際金融に携わる者として、残念なところである。過去、巨額の貿易黒字と、対外投資に伴う所得収支の黒字の増加によって経常黒字は累積し、国内でバブルとその崩壊を起こした。後始末の最中、故橋本元首相は金融ビッグバンを提唱し、東京市場の国際化と金融大国への道筋を描いた。銀行の証券業への進出、投資信託の窓口販売などはこれをきっかけに始まった。

しかしながら、その成果は十分とは言えなかった。円建て外債の発行残高は1998年に9兆9451億円、2011年では9兆8129億円と変わらない¹。そこで改めて、一昨年の「新成長戦略」の閣議決定で「我が国はアジアの金融センターとして『新金融立国』を目指し、2010年から速やかに具体的なアクションを起こす」とした。その成果のひとつが、今般の日本版スーク発行のための環境整備である。

イスラム債には金利の概念はなく、収益を投資家と事業者-発行者との間で、投資対象資産のキャッシュフローを元に配分する。日本版スークでは投資対象を特定目的信託し、収益フローを社債的受益権として証券化する。スークを取扱するためには不動産登録税・源泉徴収税などの減免がカギであった。

¹証券業協会資料

日本版スクークが発行されるには、今後、発行者発掘と投資家開拓と共に、受益権証券約款などについてシャリア委員会の承認を得なければならない。2011年のスクーク発行額は世界全体で前年比60%増の844億ドル²と過去最高を大幅更新した。

一方、世界モスリム人口の上位4カ国はインドネシア・パキスタン・インド・バングラデシュのアジア4カ国が占め、その数は7億人³に上る。イスラム金融の潜在需要が高いことが見込まれるアジアにおいて、最大の金融市場である東京市場は、欧米流とイスラム方式の2種類のファイナンスが可能な市場として、安定性と堅牢さを確保することが望まれる。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2012 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan

Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2

電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422

e-mail: admin@iima.or.jp

URL: <http://www.iima.or.jp>

² ³ The CityUK Islamic Finance 2012